

薬剤耐性 *H. pylori* 感染症に対する補完・代替療法の可能性

喜多正和、巖 暁群、今西二郎

(京都府立医科大学、実験動物部門・微生物)

Helicobacter pylori (*H. pylori*) は慢性胃炎、胃潰瘍、胃癌などの主要な病原因子であることが明らかにされてきた。現在、*H. pylori* に対する除菌療法として、プロトンポンプインヒビターと抗生物質 2 剤を併用する triple therapy が主流となっており、80% 以上の除菌率を示している。しかし、特に抗生物質に対する耐性菌の出現が臨床上問題となっており、新しい治療法の開発が望まれている。一方、古くから漢方薬はある種の細菌感染症に対して有効性が報告されているが、その抗菌効果の機序は不明な点が多い。本研究では、漢方製剤の中で免疫増強効果のあることが報告されている補中益気湯 (HET; ツムラ漢方生薬研究所) に注目し、*H. pylori* に対する抗菌効果を *in vitro* および *in vivo* で検討した。その結果、1) HET は薬剤感受性菌および耐性菌に対して同様の抗菌効果を示すこと、2) HET の抗菌効果は *in vitro* および *in vivo* で認められること、3) HET は抗生物質と併用することにより抗菌効果が増強され、完全に除菌することが可能であること、4) HET の作用機序として IFN- γ 産生が関与していることなどを明らかにした。HET は副作用が少なく、かつ薬剤耐性菌に対しても有効と考えられ、*H. pylori* 感染症に対する補完・代替療法として有用であることが示唆された。